

オレンジハート

社協だより



街頭募金運動



赤い羽根共同募金運動が10月1日より全国一斉に行われています。運動開始日の10月1日に市内7カ所「街頭募金」を行い、大勢の皆さまからあたたかい善意をお寄せいただきました。

お寄せいただいた募金は、福祉施設やボランティア団体などへ配分されるほか、社会福祉協議会が行う各種事業にも配分され、地域で幅広く活用されます。

なお、赤い羽根共同募金運動は、12月31日まで展開していますので、皆さまのご協力をお願いします。

あたたかい気持ちをお返し！
赤い羽根共同募金運動「街頭募金運動」



新シリーズ

第5弾

おしごとと見させて

～ケアマネ編～



(10月15日号)

4月号から始まった「おしごとと見させて」も今回で第5弾を迎えました。今回紹介するのは「原町区居宅介護支援事業所」に勤務する介護支援専門員青田由希あきほ技師です。介護支援専門員（ケアマネジャー…通称ケアマネ）は、在宅で介護を必要とする方が介護保険サービスを受けられるように、ケアプラン（サービス計画書）の作成やサービス事業者との調整を行う仕事です。現在、社協では鹿島区に4人、原町区に4人の計8人のケアマネが活躍しています。ケアマネになって3年目、青田さんほどのような一日を過ごしているのでしょうか。

しました。その他、制度や法律の変更など、常に新しい情報を勉強しなければなりません。



(週に一度の定例会)

9月某日(晴れ)
8時 出勤
出勤したら、利用者宅の訪問や会議など一日の業務予定の確認をします。

8時30分 定例会
この日は、週に一度の定例会が行われました。4人のケアマネが交代で進行します。この日は先輩ケアマネ末さんを中心に、困難ケースについて話し合いを

10時 モニタリング
原町区内の利用者志賀磐雄さん、志賀ユリさんのモニタリングに向かいます。お二人それぞれに声を掛け、体調はどうか、気分はどうか、最近の状況を聞き取りします。その後、同居する家族（息子さん夫婦）からも状況を聞き取り、現在のサービス利用状況と来月分の確認をします。息子さん夫婦は言います。「在宅介護は夫婦の『一人三脚』」



(同居する家族からも状況を聞き取り)



(モニタリング)

役割分担をして、お互い感謝の気持ちを持って、介護が『苦』だと思つたことはありません。今はいろいろなサービスがあるし、青田さんが良くやってくれて、本当に助かっています。」

12時 昼食・休憩

事務所に帰り、昼食タイムです。昼食を食べながら、趣味の話や夫の愚痴(!?)などで盛り上がり、ひとときの休息の時間です。

14時 サービス担当者会議
午後からは、市立総合病院で

退院に向けての利用者のサービス担当者会議を行いました。利用者本人、家族、ケアマネ、ショートステイ、デイサービスセンター、福祉用具、病棟看護師、ケースワーカーの各担当者が集まり、話し合いをしました。この会議は、利用者の自宅で行う場合や、病院、施設で行うこともあります。



(サービス担当者会議)

16時 事務処理
今日のモニタリングやサービス担当者会議の内容を記録したり、ケアプランを作成したり、利用者やサービス事業所からの電話に対応します。事務所の電話の他、ケアマネは一人ひとり携帯電話を持つており、緊急時も速やかに対応できるようにしています。

17時30分 帰宅
明日の予定などを調整・確認して、ケアマネの長い一日が終わります。お疲れさまでした。

インタビュー

青田さんにお話を伺いました。
●働き始めたのはいつから？
平成11年から、訪問入浴やデイサービスで勤務し、ケアマネは3年目です。

●仕事をやる上で気を付けていること、モットー、信条は？
「青田さんは、私の心の救急車でした」利用者様のご家族よりいただいた手紙の一文です。何かあったら、すぐ駆けつける救急車でありたいです。

●ひとつとお願いします。
いつでもどこでも明るく元気にパワフルでありたいと思っています。利用者様、ご家族様、各事業所の方々と信頼関係を大切に、全力で取り組みます!!

ウラ話

20年前になりますが、青田さんが高校生の頃、「サマーショートボランティア(長寿荘)に参加して」と題して、社協だよりに感想文を寄せていました。その中で、「介護福祉士になりたい」「たくさんの笑顔との出会い」「やりがいのある仕事だと思いました」と書いています。夢を現実のものとし、介護の第一線で活躍する青田さんの姿は、介護の道を目指す若い方々にとって、力強いエールとなることでしょう。

※1 モニタリング
利用者の状態や生活状況は刻々と変化するため、利用者本人や家族に聞き取りなどを通じ、現在のケアプランどおりでよいのかどうかを確認します。
※2 サービス担当者会議
ケアプランを作成したケアマネが、利用者に関するサービス機関の担当者を集め、ケアプランの内容を検討する会議のこと。

(取材…総務課 青田・柴山)

平成29年度 生活困窮者自立支援制度講演会

さまざまな悩みを抱える人々に対して、包括的かつ継続的な相談支援を行うことにより、地域におけるセーフティネットの強化を図り、困窮状態からの早期の自立を支援する体制を構築することが求められています。

本講演会では、地域共生社会実現の観点から、生活困窮問題をみなさんと一緒に学びます。どなたでも参加できますので、ぜひお越し下さい。

- 日時 平成29年11月24日(金)
午後2時～午後3時半まで
- 会場 原町区福祉会館 視聴覚室
- 内容 演題
『我がごと・丸ごと』の地域づくりに向けて
- 講師 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課
地域福祉専門官 後藤 真一郎 氏
- 参加費 無 料
- 締切 平成29年11月20日(月)まで
- 問い合わせ・申込先 地域福祉課(原町区)
☎(0244)24-3415
佐藤(和)・遠藤(和)まで

◆日時 平成29年12月1日(金)
午前10時30分～午後1時30分まで

◆会場 小高保健福祉センター

◆対象者 小高区にお住まいの70歳以上の高齢者の方を対象に交流会を開催します。

◆参加費 一人 300円

◆事前の申し込みが必要です。

◆締切 平成29年11月15日(水)まで

◆当日は、小高区内に限り、送迎も可能ですので、ご希望の方は申込みの際にお申し出ください。

◆問い合わせ・申込先 地域福祉課(小高区)
☎(0244)44-5970
原田まで

『シニアふれあいの会』(小高区)

◆対象者 小高区にお住まいの70歳以上の方
現在も避難中で、小高区に帰還予定の70歳以上の方

◆参加費 一人 300円

◆事前の申し込みが必要です。

◆締切 平成29年11月15日(水)まで

◆当日は、小高区内に限り、送迎も可能ですので、ご希望の方は申込みの際にお申し出ください。

◆問い合わせ・申込先 地域福祉課(小高区)
☎(0244)44-5970
原田まで

『失語症友の会(仮)』は 『ひめさゆりの会』に 名前が決まりました!

『ひめさゆり』の花言葉は「飾らぬ美」「純潔」「私の心の姿」。この花言葉のようにありのままに生き生きと生活していくことを願い、「ひめさゆりの会」という名称に決まりました。

第二回「ひめさゆりの会」の開催について

失語症で生活のしづらさを抱えている方々の相互の交流を目的に、茶話会やリハビリ教室などのプログラムで交流会を開催します。

- ◆日時 平成29年11月26日(日)
午前10時～午後12時
- ◆参加費 一人 100円(当日納入)
- ◆締切 11月17日(金)まで
- ◆問い合わせ・申込先 地域福祉課(原町区)
☎(0244)24-3415 青田まで

※当日にサポーターして下さるボランティアを募集します。失語症の方やそのご家族と交流を持ちたい方、福祉・ボランティアに興味のある方の申込みをお待ちしています。

イザ!カエルキャラバン

おもちゃの交換プログラムの仕組みの中に、楽しみながら学べる防災プログラムを組み合わせた防災イベントです。

阪神・淡路大震災の教訓・知恵を次の世代へ伝えたい。そんな思いから生まれました。

当日のボランティアを募集しています。

- ◆問い合わせ・申込先 地域福祉課(原町区)
☎(0244)24-3415 佐藤(清)まで

お花びらなくなったおもちゃをもってあつまれ!

かえっこしよう!

かえっこしながら楽しく防災を学ぼう!

イザ!カエルキャラバン!

日時 2017年11月5日(日) 13:00~16:00
会場 原町生涯学習センター「サライフ南相馬」

イザ!カエルキャラバン!のあそびかた

- おもちゃの交換
- 防災クイズ
- 防災体験プログラム
- 防災クイズ
- 防災体験プログラム

イザ!カエルキャラバン!とは

イザ!カエルキャラバン!とは、おもちゃの交換プログラムと防災クイズ、防災体験プログラムを組み合わせたイベントです。

イザ!カエルキャラバン! in 南相馬

日時 11/5(日) 13:00~16:00

防災体験プログラム

- 防災クイズ
- 防災体験プログラム
- 防災クイズ
- 防災体験プログラム

会場・アクセス

お問合わせ

南相馬市社会福祉協議会
〒977-0011 南相馬市原町区山崎2-2-1
TEL: 0244-24-3415 FAX: 0244-24-1271
Mail: shakyo@somataskyo.or.jp

2017 南相馬市健康福祉まつり

～ 支え合い みんなの笑顔 育てよう! ～

日時 平成29年10月21日(土)

午前9時30分～午後3時30分まで

会場 サンライフ南相馬・原町区福祉会館周辺

屋外イベントブース (サンライフ南相馬前)

- 9:30 開会式
- 9:45 オープニングセレモニー
(北町保育所園児によるマーチング)
- 10:15 さぽーとセンターぴあ音楽祭♪
- 10:50 「手話歌」手話サークル耳通口
- 13:00 よつば保育園児の鼓笛演奏とお遊戯
- 13:40 NPO 法人はらまちクラブ
みなみそうま遊夢チア体験会・演技など
※時間変更になる場合があります。

社協も出展します!

- (1)社協事業のPR
- (2)共同募金チャリティーバザー
- (3)しゃきょうサロン
 - ・ニュースポーツ体験
 - ・マッサージ



↑チャリティーバザーの様子
掘り出し物を見付けよう♪

サンライフ南相馬

- ・北町保育所・よつば保育園
- ・原町聖愛こども園
- ・相馬広域こころのケアセンターなごみ
- ・オペレーション・ブレッシング・ジャパン

小川町体育館

☆**ハンドバイク** 紹介・体験コーナー
☆**福祉用具** 展示コーナー

屋外・テントブース

- ・NPO法人あさがお
- ・自立研修所ビーンズ
- ・ほっと悠
- ・サラダ農園
- ・はらまちひばりワークセンター
- ・南相馬市社会福祉協議会
- ・NPO法人ぼーんず
- ・福島県介護福祉士会 相双支部
- ・原町共生授産園
- ・A・C・ハマーズ2001
- ・NPO法人はらまちクラブ
- ・原町ボランティア連絡協議会

原町区福祉会館

- ・福島県理学療法士会
- ・福島県臨床工学技士会
- ・福島県臨床検査技師会
- ・福島県病院薬剤師会
- ・認知症の人と家族の会
- ・全国パーキンソン病友の会
- ・相双地域腎臓病患者連絡協議会
- ・えんどう豆
- ・原町手話サークル耳通口

参加者募集

「おとな食堂」

帰還したご近所さんと楽しく過ごしませんか？

小高区に帰還された方を対象に、みなさんと食事を作り、楽しく味わいながら、「食」を通して語り合い、「食」について学び、交流を深めましょう。

- 日時 平成29年11月10日(金) 午前10時～12時まで
- 会場 小高保健福祉センター 調理室
- 対象 小高区在住の方
- 参加費 一人200円(当日納入)

- 定員 25人
- 締切 平成29年10月31日(火)まで
- 問い合わせ・申込先 地域福祉課(小高区)
- ☎(0244)44-5970



こんにちは！生活支援相談室です

「サロン」のお知らせ

民間借り上げ入居者等を対象

- ◆日時 平成29年10月25日(水) 平成29年11月8日(水) 午後1時30分～午後3時30分
- ◆会場 原町区福祉会館
- ◆参加費 100円(初回無料)
- ◆問い合わせ・申込先 生活支援相談室(原町事務所) ☎(0244)26-5107

福島市等に避難されている方を対象 ホツとサロン「こころ」

- ◆日時 ①平成29年10月25日(水) 午前9時30分～午前11時30分 ②平成29年11月8日(水) 午前9時30分～午前11時30分
- ◆会場 ①アオウゼ ②福島市保健福祉センター 5F大会議室

郡山市等に避難されている方を対象 「茶話力」(TeaTalk)

◆日時

平成29年11月8日(水) 午後1時30分～午後3時30分

二本松市等に避難されている方を対象 「こころ茶こころ」

- ◆日時 平成29年10月25日(水) 集合：午前7時50分 出発：午前8時00分
- ◆集合場所 二本松福祉センター
- ◆参加費 2,000円(昼食代込)
- ◆先着28人 事前申し込みが必要
- ◆新そば祭り・そば打ち体験

小高区に帰還された方を対象

◆日時

- 平成29年11月22日(水) 集合：午前9時30分
- ◆会場 安達公民館・調理室
- ◆参加費 500円(昼食代込)
- ◆事前申し込み必要

- ◆問い合わせ・申込先 二本松市社会福祉協議会 ☎(0243)23-8262
- ◆会場 小高保健福祉センター
- ◆参加費 100円

ボランティア活動中

しらゆり会

ボランティアって何？何するの？「ボランティア」という言葉があまり浸透していなかった頃、原町中央公民館(現在の原町生涯学習センター)で「市民生涯講座」の募集があり、一講婦人講座として受講しました。内容は、街頭でのゴミや空き缶拾い、特別養護老人ホームの入所者との会話とふれあい、ガラス拭きや床のモップ掛け等の清掃、シーツ交換等々を実際に体験しました。

閉講後、今まで学んだことを生かそうと、心の通い合った受講生の方々とボランティアの会を設立しました。そして「しらゆり会」と「ともしび会」(現在休会中)の二つの会が誕生しました。当時、市役所西庁舎に福祉事務所があり、市で初めての移動入浴車が導入され、家庭で介護されている方へのボランティアを行ったのがしらゆり会です。原町区福祉会館が現在の場所に建設された時、私も式典にご招待を受け出席したことを

思い出します。今は、社会福祉協議会の年間事業や、原町ボランティア連絡協議会の催し等への協力、老人介護施設での洗濯物やガーゼたたみ等会員の方々と励んでおります。会員は、70才代から80才代と高齢化しており、会員数も年々減少していきませんが、少ないながらもしっかりと絆を深め合いながら、「奉仕の精神」「奉仕の心」で会員一同、今後も頑張っ

て参りたいと思っております。会員募集中！

- 会長 たかはし てるこ 高橋 テル子
- 会員数 7人
- 設立 昭和57年4月

問い合わせ・申込先 生活支援相談室(小高事務所) ☎(0244)32-0156

- ◆10月より、東部・中部・西部合同で開催します。
- ◆送迎は今まで通り、東部第2、中部第3、西部第4水曜日です。



「まいじころ」ひろば

《平成29年9月1日～平成29年9月30日》

● ● ● ありがとうございます ● ● ●

○小高区

【ご遺志金】 (行政区)

- ・酒井澄雄様 (小高) 故酒井ユキ様 (遺志として)
- ・佐藤吉宏様 (行津) 故佐藤マスイ様 (遺志として)

【一般寄付】

- ・匿名 社会福祉のために
- ・相川社中様 タオルを社会福祉のために

匿名

- ・南相馬市支援として
- ・松本英子様 (羽倉) ポータブルトイレを社会福祉のために
- ・壬生良一様 (奈良県) ミブリナ楽器を社会福祉のために

○鹿島区

【ご遺志金】 (行政区)

- ・渡邊亮恵様 (小山田) 故渡邊亮海様 (遺志として)

【一般寄付】

- ・佐藤正一様 (飯館村) 社会福祉のために
- ・佐藤文子様 (二区) リハビリパンツを社会福祉のために
- ・花野会代表 鈴木 米子様 社会福祉のために
- ・匿名 タオル等を社会福祉のために

○原町区

【ご遺志金】 (行政区)

- ・渡邊智様 (本町三) 故渡邊ハツノ様 (遺志として)

- ・関場芳信様 (上太田) 故関場ミヨ子様 (遺志として)
- ・早川育雄様 (牛来) 故早川芳雄様 (遺志として)
- ・洪佐春様 (上佐佐) 故洪佐ハツ子様 (遺志として)
- ・木幡浩一様 (日の出町) 故岩橋七郎様 (遺志として)
- ・岩淵杉子様 (橋本町四) 故岩淵 勇様 (遺志として)
- ・高田光定様 (雫) 故高田定雄様 (遺志として)
- ・齋藤雅敏様 (仲町二) 故齋藤健治様 (遺志として)
- ・寶玉岩夫様 (江井) 故寶玉キチ子様 (遺志として)
- ・高力光孝様 (大木戸) 故高力昭申様 (遺志として)
- ・完戸富吉様 (桜井町二) 故完戸幸子様 (遺志として)
- ・本田勝博様 (馬場) 故本田トシ子様 (遺志として)

- ・匿名 紙おむつを社会福祉のために
- ・匿名 洋服を社会福祉のために
- ・伊藤冷機工業株式会社 社会福祉のために
- ・カウンセリング・スペース「さくら」様 (東京都) 震災復興支援として
- ・匿名 コミュニケーション事業のために
- ・匿名 スポーツ飲料を社会福祉のために
- ・齋藤健治様 (仲町二) オムツ等を社会福祉のために

ボランティアセンター寄附一覧

【物品】

- ・田中康男様 (千葉県) 飲料水をボラセン運営のために
- ・沼田 克 様 (大阪府) 缶ジュース等をボラセン運営のために
- ・カウンセリング・スペース「さくら」様 (東京都) 飲料水等をボラセン運営のために
- ・清水大輔様 (千葉県) 刈払機用替刃をボラセン運営のために
- ・伊東博之様 (茨城県) 刈払機用替刃をボラセン運営のために

【お寄せいただいたご厚情は地域福祉活動に活用させていただきます】

無料法律相談会

期日・会場

平成29年11月10日(金)
原町区福祉会館 相談室
午後1時30分～
午後4時30分まで

予約・問い合わせ先

サポーターセンター希望(鹿島区)
☎(0244)26-8246

認知症相談会

期日・会場

平成29年11月13日(月)
原町区福祉会館 講座室
午後1時30分～
午後3時30分まで

問い合わせ先

☎(0244)23-4519
荒まで

ひろば

～編集後記～

「秋こそ1」
山々の紅葉を眺め、食欲を満たし、時間に余裕があれば、近くの温泉地(日帰り)へと足を伸ばし、日頃の疲れを癒すコースが毎年の家族の定番の楽しみとなっています。でも、幼い子供たちにしてみれば、紅葉と温泉と聞いても「やったー!」とはならないので、本屋さんやゲームセンターに立ち寄ることもあります。大人も子どもも楽しみがなくなっちゃ…大事ですよ。(笑)

「秋こそ2」
趣味の一つにスポーツも良いものです。どんなことでも、身体を動かしてかく汗は、最高だなあ♡とこの歳になっても実感できます。月に一回行われる職員スポーツ交流が楽しみです。秋を満喫するぞ!